

第1回 ima CUP 2014 in 浜名湖 レギュレーション

ima CUP 2014参加者は必ずお読みください

安全に競技を行うために

- ・ ライフジャケットは必ず着用し、キャップ・サングラスも着用を推奨する。
- ・ キャップは支給のキャップを全員被ること。
- ・ キルスイッチのあるボートを必ず使用すること。
- ・ 必ずボート定員は厳守し、安全には十分に配慮すること。
- ・ マイボートで参加される方は賠償責任をカバーする保険に加入すること。

競技規定

- ・ 船の操縦者は必ず船舶免許を所持している事。
- ・ ima製品(プラグ、ワーム)を使用すること。
- ・ ima製品のチューニングモデル(エクリプスチューン等)又は個人チューニングルアーは使用可とする。
- ・ ルアー以外の道具についてはメーカー不問とする。
- ・ 釣り方はルアーフィッシングに限る。
- ・ アラバマリグ等複数のルアーを同時使用することは禁止する。
- ・ トローリング及びエンジン動作時の釣りは禁止する。
- ・ ima CUP 2014当日のプラクティスは禁止する。
- ・ ima CUP 2014開催中は緊急時を除いて、携帯電話及び通信機の使用を禁止する。
- ・ リミットは3本とする。(対象魚:シーバス、クロダイ、キビレ、マゴチ、ヒラメの5種類)
- ・ キープサイズは、シーバス・マゴチは40cm以上、クロダイ・キビレ・ヒラメは30cm以上。
各自船上にて支給のメジャーで各自船上にて計測して判断すること。

ウェイイン

- ・ ウェイインできる魚は生きている魚に限る。
- ・ ライブウェルには3本を越える魚はキープしてはならない。
- ・ リミットメイク後は全て入れ替え作業を行い、4本目以降の最小サイズはリリースする。
- ・ 規定違反が発覚した場合は失格とする。
- ・ 複数乗船でライブウェルが1個の場合には必ず魚にマーカーをつける。
- ・ 検量前に死魚判定をし、完全死魚は検量対象外、エラを動かしているが金目になっている魚は-300gとする。
- ・ ima CUP 2014開始から12:00までの間は途中ウェイインを認めるが、生魚であっても1本につき-100gとし、上記の様にペナルティー対象魚は-400gとする。
- ・ この場合、魚が元気であればリリース又は持ち帰る処理、弱っている・死んでいる様であれば持ち帰る処理をその場で行い二重検量の疑いをかけられない様にする。
なお、途中ウェイインを行った場合は検量済みの魚を入れ替える事は出来ない。
- ・ リリース不可能な状態(死魚)の魚を入れ替える場合には持ち帰る処理をして持ち帰ること。(検量対象外)
- ・ 検量終了後の魚は、各自持ち帰るか全く弱っていない場合にはリリースすること。

ランキング方法

3本の合計重量(ペナルティーが有る場合は引いた重さ)により順位を決定する。
同重量の場合には、最大重量魚の重い方を勝ちとする。

その他

ima CUP 2014開催日に伴う事故・障害・盗難は個人の責任とし主催者・協力会社は責任を負わない。